

Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

神奈川県

T・Mさん（母）

12年前に事故で主人を亡くし、当時3歳だった息子も春には高校生となります。あの頃は子ども達が幼く、今後の生活をどうしていったら良いのか途方に暮れてしまい、泣いて悲しんでいられない状況に追い込まれ、必死にやるべきことをやらなければいけないことをやって過ごしてきました。そんな中、経済的な支えになってくれたのが交通遺児等育成基金でした。特に、小学校から中学校、中学校から高校の進学にはまとまったお金が必要となるため、大変に助かります。子どもが2人いるので本当にありがたく感謝でございます。

まだ、将来何をしたいか？ 思い浮かばないと言う息子ですが、面接では、だからこそこの高校で見つけていきたいと語っておりました。

これからが楽しみでございます。いつもありがとうございます。

長野県

T・Hさん（加入者）

いつもありがとうございます。

図書カードで、漢検と英検の参考書を買いました。これで勉強を頑張ります。

和歌山県

O・Eさん（母）

この度は育成付加給付金をいただきありがとうございます。息子も中2になり、成長期を迎え、この夏休みにかかる食費に驚くばかりです。

夫がこの世を去ってから7年、ここまで親子2人で歩んできました。裁判で忙しく、子育てに向き合えなかった時間を、これからは取り戻したいと思っています。

広島県

S・Mさん（祖母）

育成給付金をいただきありがとうございます。

突然の事故から、はや8年が来しました。当時8歳と9歳の孫をかかえ頑張って今日まで来ましたが、79歳の高齢になりました。

収入のない私たちにとって、育成基金は生活のささえになっております。高校1年、2年になった孫たちは、きびしい部活トレーニングに屈する事なく、汗だくになって頑張っております。

出費の多い昨今、支援が生活のささえ、心のささえになっております。ありがとうございます。

埼玉県

C・Aさん（母）

いつもお世話になっております。近況報告です。息子は大学生になり、こちらでお世話になるのもあと少しとなりました。お金の心配をそれほどすることもなく、好きな道に進めることができたのも、基金に加入していたからだと思います。

そして事故当時は、やり場のない気持ちを、スマイルズでの皆様のお便りを拝見することで、同じような思いをされた方がこうして繋がってしてくれること、また今は明るく過ごされているご様子に大変心が救われました。「私もいつかは心から笑えるんだ」それが心の支えになりました。ですので、スマイルズのお便りのコーナーはとても意義があると思いますし感謝しております。

そして、きっとまだ事故から日が浅く、心が落ち着かない方もいらっしゃると思いますが、全国に仲間がいます。周りにも手を差し伸べてくれる方々がいます。どうぞ、お子様と共に、色んな人の手を借りながらゆっくりと歩まれてくださいね。



大阪府 I・Yさん（母）

この度は「橋本給付金」のご支給ありがとうございます。次女もおかげさまで中学生となります。今回いただいた給付金は、制服や鞆など新生活に充てさせていただこうと思います。

勉強にクラブに友達に…どんな中学校生活になるのか親は心配していますが、子どもはそれなりに楽しみにしています。成人まであと5年間、後悔のない育児をしていきたいと思います。

栃木県 O・Hさん（母）

この度、娘の高校入学に際し、橋本給付金を頂戴しました。感謝申し上げます。

夫が亡くなった時、8歳だった娘が今年16歳になることを考えると、あと少しで娘の人生において父親がいない期間の方が長くなってしまいます。寂しいという時期も過ぎ、子ども達にとっては父親の不在が当たり前となっているようです。

お陰様で娘は楽しく通学しているようです。高校3年間で自分の道を見つけ邁進してくれればと思っています。どうぞよろしく願います。

熊本県 U・Kさん（加入者） U・Eさん（母）

♡加入者さまより

給付金をいただき、ありがとうございます。中学生になっても、しっかり勉強を頑張ろうと思います。

♡お母さまより

この度は「橋本給付金」、および図書カードを支給いただき、誠にありがとうございます。中学進学への準備資金として使わせていただきます。

このご恩を忘れることなく、親としてしっかりと子どもを支えていこうと思います。心より感謝申し上げます。

山口県 H・Yさん（加入者）

この度は、入学の祝いとしてお金を送ってくださり、誠にありがとうございます。

橋本給付金の方は、学校生活に必要な文房具やスクールバッグ、また、中学校で3年間使い続けた筆箱を新調して、新しいものを買いたいと思っています。新学期になると、今までなかった交通費や、お弁当の用意など、中学校の時にはなかったものがたくさん始まります。なかなか耐えるものではないけれど、このような自分を支えてくださる人がいてくださることを知り、とても心強くもあり、頑張る気持ちにもなりました。本当にありがとうございます。

そして図書カードもありがとうございます。私は、本を読むことが大好きなのでごくうれしいです。普段は少しがまんをして買わないことがあるのですが、これを機に気になっていたものを買ってみようと思います。

改めて、本当にありがとうございます。いただいたものたちは、大切に使いたいと思います。

茨城県 N・Rさん（母）

いつもお世話になっております。

育成付加給付金をいただきありがとうございます。物価が上がり続けていて、どこまで上がっていくのか…早く戦争が終わってほしいと思う毎日です。

子どもたちは、長男は大学3年生で就職活動が始まりました。次男は高校3年生で大学受験の勉強を頑張っているようです。希望する大学に入学できるよう私もサポートしていきたいです。

大阪府 Y・Mさん（母）

いつもありがとうございます。この度の育成付加給付金、誠にありがとうございます。

夏休みに入りますので、子どもが喜びそうなことに使わせていただきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



となりのレターズ

みんながとなりに寄り添う「もう一つ」のLetters

今回は、当基金がイベント等への財政支援を行って運営に協力させていただいています「独立行政法人 自動車事故対策機構」（以下「ナスバ」）が主催する「交通遺児友の会」についてご紹介させていただきます。昨年夏号でも取り上げていましたが、今回は友の会の活動内容と利用者の生の声を、「ナスバ」のご担当者から届けていただきました。

独立行政法人 自動車事故対策機構(ナスバ) 交通遺児友の会 入会のご案内

お子様の成長とご家族のつながりを支える無料の会員制度です

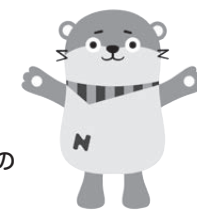
「ナスバ交通遺児友の会」は、事故により保護者を亡くされたり、重度の後遺障害を負われたご家庭のお子様(中学生以下)並びに同居のご家族を対象として、お子様の健やかな成長とご家族同士の交流を支援する会員制度です。全国各支所に分かれて活動していますので、最寄りの友の会の活動に気軽に参加していただくことができます。

会費・参加費 無料

入会することにより、季刊誌友の会だより(年4回)、各種コンテスト、交流イベント、体験活動などにご参加いただけます。

こんな活動をしています！

- **旅行【友の会の集い】** 企業からのご招待(ときどき)
大阪のUＦＪや東京ドームでの試合観戦など、これまでさまざまな行事やスポットへ招待していただいています。
- **コンテスト(書道・絵画・写真)** 最優秀賞はディズニーご招待
お子様を対象に、毎年、コンテストを開催。
たくさんのご応募をいただいています。
- **「友の会だより(年4回発行)」**
(クイズに答えると図書カードがもらえます)
会員の近況報告や友の会の集い、コンテストの様子などを紹介しています。



「ナスバ」公式キャラクター
「ナスバちゃん」です



友の会活動の様子

利用者の声

- 案内など丁寧で、楽しい企画に招待して下さり、大変感謝しております！
- 楽しい企画にご招待いただけて、子ども達は毎年とても楽しみにしています。
- 息子と一緒に出かけのいい機会で毎年楽しみにしています。同じ境遇の方とお会いできる貴重な機会を与えていただきありがとうございます。

詳しくはナスバホームページをご覧ください。

<https://www.nasva.go.jp/sasaeru/tomonokai.html>



「友の会」入会を希望される方は、「独立行政法人自動車事故対策機構 交通遺児友の会入会申込書」にご記入いただき、お近くの「ナスバ支所」宛にお送りください。(「ナスバ所在地一覧」をご参照いただき、お住まいの都道府県(北海道は4か所)の支所まで、直接お送りください。)

